

テーマ

地域の方から学ぼう

事業実施地区（中学校区名）	浜田第一中学校区
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	浜田市立石見公民館

テーマの背景

- ・石見公民館エリアはとても広く、宝物の一つが地域で生き生きと仕事や活動をしている人が多いこと。
- ・地域にこれが必要と活動をしておられる方からお話を聴き、児童は、地域の方の生き方に触れ自主的に調べたり、学んだりすることによってふるさとに愛着を持つ機会となったり、地域の方は仕事や活動をするきっかけや思いを児童に話すことで、将来のパートナーとして児童とこれまで以上に係る事が出来るのではないかと思ったこと。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：地域の方から学ぼう

<取組の概要>

- ・地域講師6名を選んで、事業の概要を説明し、児童に話す内容を考慮してもらおう。
- ・実行委員会を開催。地域講師、担任の先生
- ・当日、5年生の学習時間45分×2を使って、6グループ（1グループ4～5人）に講師が分かれて話す。パソコンの映像を使ったり、カラーの資料を使ったり、講師との距離が近い学習は、児童も、講師も親近感を持ったものとなった。
- ・お話を聴いた後、児童は各々、新聞作りを行う。自由な紙面の使い方が示され、個性豊かな仕上がりとなった。また、一度講師に見てもらい「ここだけは、大きく違う」というところのチェックをしてもらい完成となった。

<成果と課題>

- ・講師の話に身を乗り出して聞いていた。講師の方のプロフィールを事前に子どもたちに渡して、キーワードになる言葉について調べていたことも興味を持つことになったと感じた。
- ・お礼の葉書には、講師の経験（失敗や挫折）をこれから自分の身にも起こるであろうとした、受け止めや、将来のために今、自分に出来る事を頑張りたいとの気持ちが綴られたものもあり、講師も心を温かくくするエピソードが多数見受けられた。新聞も児童の心の動きが解る読み応えのあるものに仕上がっていた。

②学校の学びをさらに深める場の設定

事業名：～子どもたちの未来につながる～ キャリア教育って？

<取組の概要>

「地域の方から学ぼう」を経て、子どもたちの未来に繋がるキャリア教育について学ぶべきものは何だろうとの思いが膨らみ、今一度基本的な理解を得るために、岡山大学の中山芳一先生をお招きし学習会の開催となった。

中山先生は、学童保育や乳幼児保育の分野に注力されていると共に大学生や中高生のキャリア教育に至るまで多様な教育の実践研究に精通。浜田市教育委員会では「地域ぐるみで子どもを育み、地域（大人）も高まり合おう」という理念の元に、ふるさと教育、キャリア教育、学校支援、放課後や休日の支援、家庭教育支援を一体的に取り組んでいることもあり、これらを進めていくには、学習の機会を得ることが必要であると思った。

<成果と課題>

- ・参加者数は見込みより少なかったが、子どもに係る事の多い公民館職員が多かった。
- ・キャリア教育について、子ども時代は非認知能力を向上させることが重要であるとの事だったので、その様な活動をこれからの事業計画に反映する事が出来ると感じた。
- ・学習会の開催を休日を持つと参加する人が増える。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

- ・地域講師さんは、4～5人の子どもたちに対して、話をしてもらった事で、児童と講師の距離が近く、感心を持って聴くことができ、講師の話しを自分の未来に繋げて考える事が出来た。地域の大人がこんなにも私たちの事を思ってくれていたとは知らなかった。と話す児童もいて、地域の方の魅力やふるさとの良い所を確認できたと感じた。
- ・担任の先生があらかじめ、講師のプロフィールからキーワードになる言葉を図書室で調べ学習をしていたことで、授業当日は、児童からとても良い質問があり、講師とのやり取りも増え、交流が更に深まった。



今後の展望

- ・地域にはまだまだ、子どもたちにとって魅力的な人がいる。人材の発掘が必要である。また、児童がお出かけして地域講師の活躍の場に参加する事も考えていきたいと思う。ふるさとの魅力は、そこで暮らしている人であり、子どももその地域の一員であると感じてほしい。

～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～
公民館ふるさと教育推進事業 取組事例